近頃、各方面で新農藥「二・四—D」が話題に上り、すばらしい効果があるものとして宣傳されてゐるが、實際本藥劑の殺草効果は著しい。僅か五十瓦（グラム）の「二・四—D」で約一分地の水田の雜草を驅除できるので、この藥に對する一般の期待は大きく、將來これによつて東洋の「四つ這ひ」水田耕作の苦勞から農民を救ひ出す可能があるとまで期待されてゐる。現在アメリカではこの藥が實用されて相當な効果を擧げて居り、日本では既に試驗の域を脱して相當に使用されてゐる樣である。本省では未だに使用法試驗中である。

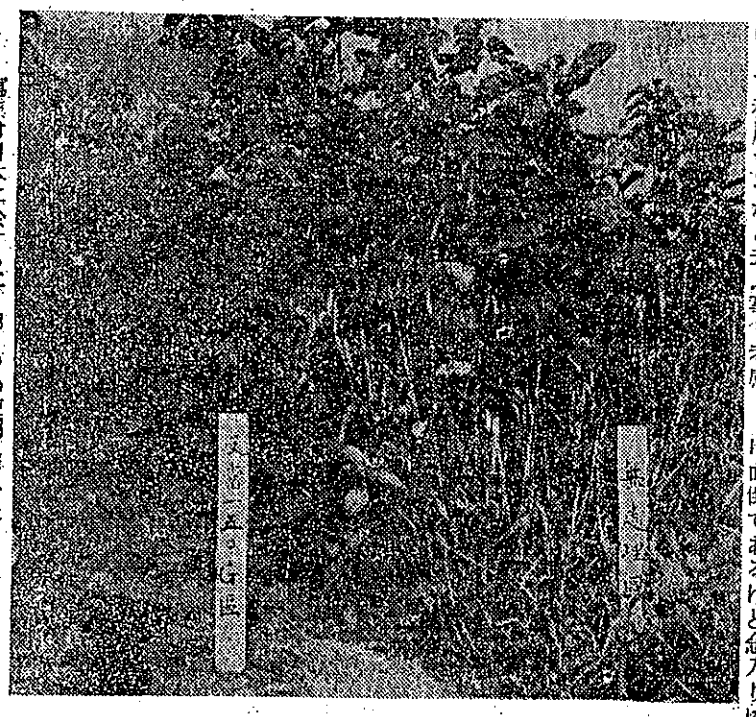
然しこの藥劑にも色々の欠點があるので無批判に使用することは危險である。即ち本劑は稗（ヒエ）等の如き禾本科雜草及び浮草を殺す力がないことである。またこの藥劑の使用法や使用量を誤ると稻に對して烈しい藥害を與へることと、それから本劑の使用によつておこる農村の餘つた勞力をいかにして利用するかと云ふ事も考慮しなければならない。また本省に於ける除草は多くは中耕培土を兼ねて行はれる爲め、本劑を如何に從來の稻作耕作法に從つて使用するかも考へなければならない。次に「二・四—D」の使用法を簡單に紹介して見よう。

本劑の使用前一日か半日前に、水田の水を完全に落さなければならない。これは直接雜草に本劑をかけるためである。使用量は一分あたり五十瓦が基準になつてゐる。この五十瓦を一升ビンに入れ、それに水を一杯入れて振ると直ちに溶けて、一分地の殺草劑の原液が出來る。使用するときはこの原液を更に約五斗に薄めて一分地の水田に撒布する。

本劑の撒布時期は本省では目下試驗中であるが、日本では一田植後十五日を經過し、溫度が攝氏二〇—二五度以上であれば先づ何の心配がなく使用出來ると云はれてゐる。時間的には天氣のよい日の午前十時頃がよい。ただ注意すべき事は撒布直後に雨が降ると殺草効果が減るから、天氣の惡い日には撒かない方がよい。

「二・四—D」撒布後、半日か一日位してから田に充分水を入れると藥効が一層よくなると云はれてゐる。二—三日經つと先づ弱い雜草から枯れ初め、十—十五日で全部枯死する。しかし稗（ヒエ）は稻と同樣に本劑に對して抵抗が强いから、稗は今までと同じ樣に面倒であるけど念入りに拔かなければならない。

本劑の撒布量は標準を稻の幼苗に對して使用する。



寫眞は日本に於ける二・四—Dの使用地區と、左の二・四—D使用地區とを比較して頂きたい。右の方の無斑地區を示している、

バナナ種苗は如何にして選ぶか

普通にバナナ種苗の優劣がその後のバナナの生長（殊に第一代作物）や收量に大きな影響を及ぼす事は、バナナを栽培した事のある者なら誰でも經驗する所である。では種苗を選擇するに當つて、どんなものを選んだら良いか、簡單に說明して見よう。

一、種苗の種類

普通にバナナの種苗として使用できるものは左記の三種である。

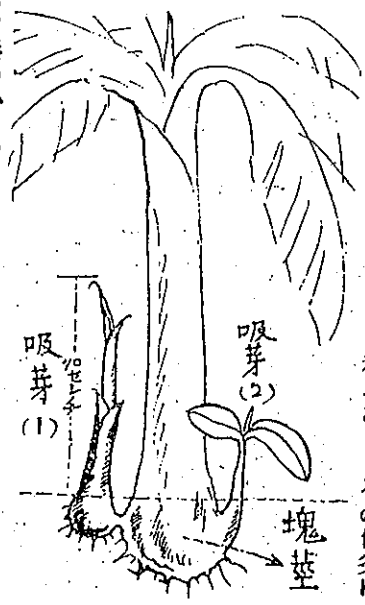
①既に果實を生產した老株。

②六、七ケ月を經過し、塊莖（下の圖の如くバナナの根の部分の）良く發育した吸芽（下圖參照）。

③二、三ケ月を經過し、二尺半位に成長した小さな吸芽。

以上のうちで、①の如く老株を苗とする場合は、これをそのまま、或は塊莖を數個に切斷して、栽植する。切斷した切片には、各々一個の子球芽（吸芽の小さいもの）がついているから切り去つてはならない。②の種類の苗は既に六—八月を經過して居り、塊莖が良く發達している爲め、發育の結果が非常に良好で、廣く栽植用として用ひられている。また③の如く、數週間ないし二、三ケ月しか經過していない小吸芽も栽植用として用ひられる事がある。然しこの種の吸芽のうち、形の小さいものは發育が良くない爲め、塊莖の大きく形の良いものを選んで栽植すべきである。

以上の如く栽植用として使用されるバナナの種苗には三種あるが、普通に廣く利用されているのは②種、既ち六—八ケ月を經過した吸芽で、もし種苗の足りない場合には③種のうちから發育の良いものを選んで栽植しても良い。



二、優良種苗の條件

バナナ繁殖體として利用できるものには種々あり、その傳播方法にも色々あるが、優良な栽植用吸芽を種苗として採取しないで、次に擧げて見よう。

①初年生の母株から出た吸芽を種苗として採取すること。初年生の母株は植物として比較的に小形で、これから出た吸芽は一見して見事な樣であるが、水分が多く塊莖内の貯藏養分が少ない。二、三年生の母株から出た吸芽は塊莖内の組織が發達して居り、從つて貯藏養分も多いから、その後の生長も良いわけである。

②吸芽を選ぶ時、圖の中の吸芽(1)の如く塊莖が肥大して居り內容の充實したものを選ぶ。次に矢張り圖中の吸芽(1)の如く葉鞘部（莖の先き）が堅くしまつて居り、先端が劍先きの樣に細長く突き出て居り、全體の形が肥大した筍（タケノコ）の樣なものが良く、高さは七〇センチが適當である。反對に吸芽(2)の如く塊莖が小さく、全體の形も小さく、既に完成葉が開いたものは不良である。（詳細は中文の圖一を參照）

③母株塊莖と種苗吸芽の接續部はなるべく圖中の吸芽(1)の如く細く小さいものほど結果が良い。これは吸芽を切り取る時、接續部が小さければ、それだけ傷を受ける面が小さく、後の發育に良い爲めである。

④越年苗を採取する事。九月ないし十二月に出る越年苗は新年苗よりも塊莖の組織が充實して居り、貯藏養分も多い。從つて栽植後の生長も良く、收穫を增し、その收穫期を短縮する事ができる。新年苗は外觀が良いが水分が多く、組織も充實していない爲め、貯藏養分は少い。

要するにバナナ吸芽を栽植する時に、吸芽の選擇は最も重要で、その良し惡しはバナナの收穫に大きな影響を及ぼす。故に、各地に於ける自然要素を考慮すると共に、以上に述べた方法によつて優良なる種苗を栽植して頂きたい。

（農林廳特產科）

農村風光……藍蔭鼎

樂魚樵而安歲月——遇天理以度春秋

十二指腸虫

寄生する害蟲で、この蟲を持つている患者は心臟を痛めて大いに勞働力を損はれる。農村に於いて殊に十二指腸虫が多く、ひどい所では保有率が全村民の五、六割と云ふ所もある。これは農村では肥（コヤシ）を取りあつかふ關係上、十二指腸虫の幼蟲がハダシの皮膚をくい破つて人體內に入るからである。豫防法としては、田畑で仕事をする時にゴム長グツでもはいて居るのが一番良い。また營養の高い食事を攝ると十二指腸感染が減ると最近の研究では報告している。